

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。  生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえた、新教育課程の編成を構築する。  ②生徒が主体的に学べるための授業研究を行う。 ・ICT機器等を活用することで、さらに分かりやすい授業の実現を目指す。	①新学習指導要領の改訂に伴う課題について、その対応を検討する。  ②様々な生徒に対応できるように「授業のちよつと×2」の取り組みを深め、ちよつと、授業を工夫し実践していく。 ・ICTを活用し、教員間で連携・共有を図りながら「わかる・できる」授業を目指すとともに、BYOD回線を活用した効果的な授業展開を実践する。	①新学習指導要領の改訂に伴う課題について、その対応を検討することができたか。  ②各教科で、「ちよつと×2」を実践した授業を行い、内容を共有できたか。 ・ICTを活用した授業例や教材等を教員間で共有しながら授業改善ができたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。  学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	①外部の関係機関の人材と連携し、支援体制の充実を図る。 ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組を徹底する。  ②生徒が主体的に活動し、自己肯定感が高められる環境づくりを進める。	①外部関係機関と連携しながら生徒の指導・支援を行う。教育相談コーディネーターを中心に相談体制・支援体制の充実を図る。 ・いじめアンケートの内容を検討し、いじめの未然防止、早期発見に努める。  ②文化祭、スポーツ大会を生徒会中心に企画運営を行い、自分たちが作り上げる行事にする。	①外部機関と連携することができたか。教育相談コーディネーター(年次相談係)を中心に、相談体制・支援体制が機能できたか。 ・いじめアンケートの結果は、迅速に適切に対応できたか。  ②生徒自らが主体的にクラスの企画を作り上げることができたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①多様な課題を抱える生徒に対応するキャリアサポート体制の充実を図る。	①校内カフェや進路の活動を通して、外部支援者、教員、生徒の間の連携を緊密にする。  ・就労相談を主要業務とする若者サポートステーションやハローワーク、NPOなどと連携をし、早期から体験的な学習を実施する。  ・外国に繋がる生徒の就労に関して連携先を模索する。	①校内カフェや進路の活動を通して外部支援者、教員、生徒の間の交流がなされたか。  ・就労相談の利用状況や体験的な学習の実施状況はどうだったか。  ・外国に繋がる生徒の就労に関する連携先を開拓できたか。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域との連携を推進し地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・防災活動について地域との協働を図る。  ②教育活動の情報発信の充実を図る。	①地域貢献活動の一環として清掃活動を通して地域に貢献できるようにする。 ・厚木市や近隣自治会と連携・協議して「避難所初動マニュアル」を整備する。  ②ホームページのCMS化に伴い、情報発信の質的向上を目指すとともに、三課程合同パンフレットの作成を進める。	①日頃から地域の美化を目的に生徒が行動することができたか。 ・厚木市や近隣自治会と連携・協議をして「避難所初動マニュアル」を整備できたか  ②ホームページのCMS化や三課程合同のパンフレット作成について課程間での調整ができたか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。  フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。 ・三課程で連携実施する防災訓練を発展させる。  ②ICT機器の活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①厚木市や神奈川県や学校周辺自治会との連携を図り避難所運営委員会を立ち上げる。 ・三課程が協力して、教員主導でなく生徒主体の実践的な防災訓練を計画実施する。  ②セキュリティ意識を高め、効果的な情報共有の追求を図るとともに、老朽化したICT機器の更新等を進め、快適なICT環境の構築やBYOD回線の効果的な利活用を目指す。	①厚木市や神奈川県や学校周辺自治会との連携を図り避難所運営委員会の立ち上げについて動き出せたか。 ・実施要項に基づき三課程合同の防災訓練が実施できたか。  ②セキュリティ意識を高め、効果的な情報共有ができたか。使いやすいICT環境整備が推進できたか。					

